

病害虫防除技術情報第 12 号

令和 7 年 9 月 26 日
三重県病害虫防除所

**ハスモンヨトウが増加しています。
ほ場を観察して初期防除に努めましょう。**

- 1 対象作物：野菜類、ダイズ、花き類
- 2 対象病害虫名：ハスモンヨトウ
- 3 発生状況と気象の状況
 - (1) 県予察ほ(松阪市嬉野川北町)におけるフェロモントラップ誘殺数(8月第5半旬から9月第4半旬)は3,270頭(平年1,541頭)と平年の2倍以上です(図1)。特に、9月18日夜以降から9月24日未明の誘殺数が1日当たり200頭を超えました。
 - (2) 1か月予報(9月25日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の気温は高い見込みで、ハスモンヨトウの発生に好適な条件が続くと予想されます。
 - (3) 令和7年8月20日付け病害虫発生予察注意報第3号でハスモンヨトウの増加については発出していますので、参考にしてください。

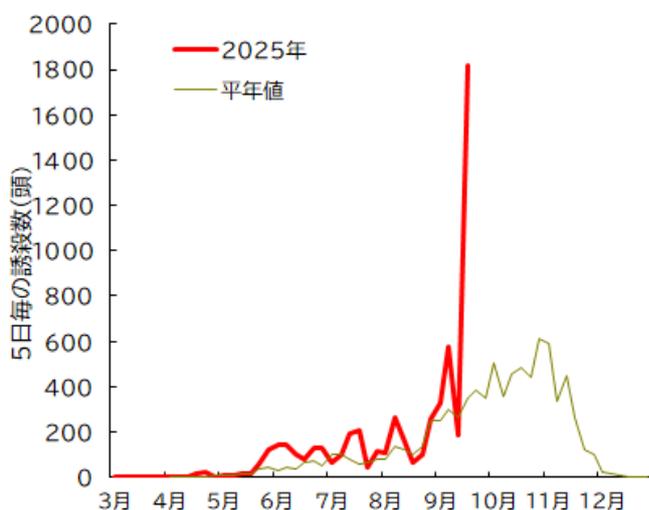
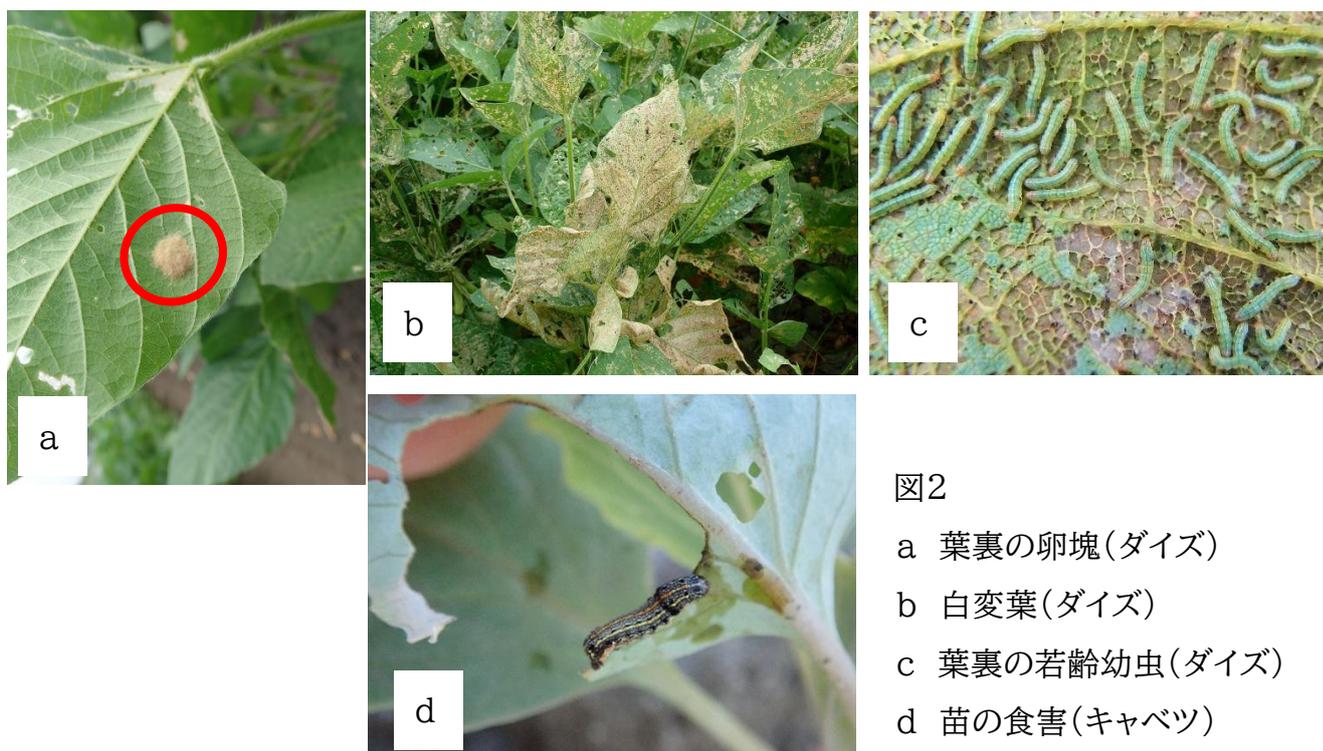


図1:
フェロモントラップによる
ハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

4 防除の注意事項

- (1) こまめにほ場を見回り、薄茶色の毛で覆われた卵塊(図2a)や白変葉(図2b)を目印にして若齢幼虫が分散する前に捕殺してください。
- (2) 老齢幼虫は薬剤の効果が低下するので、若齢のうちに防除してください(図2c、d)。
- (3) 薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。
- (4) 気温が高い年は多発する傾向があります。
- (5) 松阪市嬉野川北町のフェロモントラップでは、台風が接近した場合や前線が通過した場合等に誘殺数が増加する傾向があります。ハスモンヨトウがほ場にも侵入する可能性が考えられるので、台風接近等の場合は、その都度特に注意してほ場を観察してください。
- (6) ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺状況は、以下の野菜の病害虫のページにて随時更新しています。
<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39619007432.htm>
- (7) 防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>



農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

予報発行時の e メール連絡サービス(病害虫情報メール)の登録はこちら→

